

芽吹き

春を告げる便りが
青空に響く
白木蓮のうぶ声から
暗闇を彩る
沈丁花の甘い調べに
変わった日
ないと思っていた
何か
あるのだと知った
すると
また冬がやってきて
わたしの眼を
閉ざしてしまった
何か
手で触れられることを
求めているのだろうか

田中晴子